

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

会社の目的はハピネスの最大化 堀越 實 (伊那食品工業会長)

1. 会社の目的は、一人でも多くの人を幸せにすることだ。ハピネスの最大化と言っていい。ハッピーにする人たちの中には、当然のことながら社員も含まれる。売り上げや利益の最大化、しかもそれらを早く勝ち取ることを考えていては、ハピネスの最大化は絶対に不可能だ。それを知らない経営者があまりにも多すぎるのではないだろうか。成長を急げば必ずそこにひずみが生じ、その直後に売り上げが激減する時がやってくるだろう。
2. 私が大切にしている経営理念「年輪経営」の中に「ファンを作る」というものがある。会社の目的であるハピネスの最大化を生むための「手段」の一つだ。会社のファンを作ることは一朝一夕にはできない。常日頃、仕入れ先を大事にし、顧客を大事にし、社員を大事にしていれば、おのずとロコミで「あそこは本当に良い会社だから、同じような物を買うならあそこの会社から買おう」と言われるようになる。
3. ファンはリピーターとも言い換えられる。同じ顧客が何度も繰り返し購入してくれるので、販促費をそれほど使わなくても済み、利益率は高まる。ロコミで少しずつファンが増えるので、売り上げも上がる。この好循環を生み出すには、経営者は他人を思いやる優しさを持たねばならない。

(参考:「日経ビジネス」2017年1月23日号)

人事・労務について

人を育てる十の心得 (加賀屋)

小田 真弓 (和倉温泉加賀屋女将)

1. 笑顔で相手のいいところをほめてあげる
(「ありがとう」と言う)
2. 注意する時は言い方に気をつける
3. 相手との気持ちを通じ合わせる。
4. 時には外部の研修や講演会などに出してあげて、気分転換させる。
5. 不器用な人、要領よくできない人ほど、より可愛がって大事にしてあげる。
6. 自己啓発の機会を体験させてあげる。
7. ひと言多い子や段取り優先な子を注意する。
8. 知識を教える。
9. 相性が合わない場合には配置転換をする。
10. 責任は女将である私にあるということ。

(参考:「致知」:2017年4月号)

経営者のための危機管理

大型投資の失敗 (キリン)

1. キリンは2011年に当時ブラジル国内でシェア2位だったスキンカリオール (現ブラジルキリン) を約3000億円で買収。ところがこのブラジル事業から撤退が濃厚になったのだ。キリンは国内ビール業界のガリバーと呼ばれてきた。常に競合より先手を打ち、日本勢の中では積極的に海外に大型投資してきた。
2. しかし、海外勢の動きだしはもっと早かった。キリンが海外で買収を始めた2009年頃には既に海外のビール市場で大型再編が一段落しており買収案件が少なかった。キリンは焦るようにスキンカリオールを買収した。ブラジルに手を出したことで成長戦略はぼやけ「どんな姿になりたいか」という会社の未来図が描けずに行った。だが、2014年頃からブラジル事業が不振に陥ったことで、アジアという目指すべき道を示すことになった。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2017年2月4日号)

古典に学ぶ

「チャノユ」の第一要諦は心の平静

(解説)「チャノユ」の第一要諦である心の平静、気持ちの静穏、行状の静けさと落ち着きは、たしかに、正しい思考と正しい感情の第一条件である。争いに狂う俗世間の姿や騒声から遮断された、小さな茶室の、徹底した清浄は、それ自体、人の思いをこの世から離れさせる。

(参考:佐藤全弘 (訳) 新渡戸稲造「武士道」: 教文館)